

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈中・国語〉

特別研修員 国語 萩原 茜（中学校教諭）

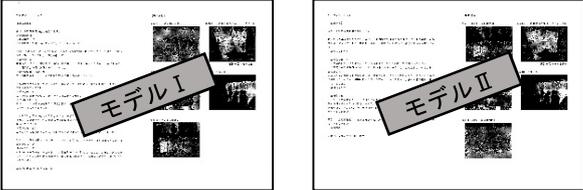
単元名『魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう』（第2学年） 全6時間計画

単元のねらい

自分たちが実際に訪れた見学地の魅力が1年生に伝わるようなプレゼンテーションを計画・実践する活動を通して、集めた情報を整理したり内容を検討したりしながら、自分が伝えたい魅力について、分かりやすく伝える表現や構成を考えることができる。

単元構想

本単元では、学校行事「東京班別体験学習」で実際に訪れた見学地の魅力を1年生にプレゼンテーションで伝える、という言語活動を設定し、相手に分かりやすく伝える表現や構成・展開を考えられるように構成しました。実際に1年生に向けてプレゼンテーションを実践する場を設けることで、単元の学習に対する生徒の必要感を高め、意欲的に学習に取り組めるようにします。また、国語で学習する内容が、ほかの教科等の学習や実生活に生かせることを実感させるために、総合的な学習の時間や特別活動とも関わり合う単元となるようにしたり、単元で学んだことをどのような場面で生かせるか考える時間を設け、一般化できるようにしたりしました。

学習過程(時数)と主な学習活動	教師側の意図と指導の実際
【総合的な学習の時間】 東京班別体験学習で訪れる見学地の候補を班で検討する。	必要感のある言語活動の設定 学校行事に関連した言語活動を設定することで、生徒が意欲的に学習に取り組めるようにする。 1年生に向けて、魅力が伝わるプレゼンテーションをするために、学習していきたい。 <small>(生徒の振り返りより抜粋)</small>
つかむ過程(1) 1 単元の課題を把握する。 ○見学地の選定に悩んだことを想起する。 ○単元の課題を設定する。 東京班別体験学習で行った見学地の魅力が1年生に伝わるようなプレゼンテーションをしよう。 ○プレゼンテーションの方法について学ぶ。	意図的に作成したモデルの比較 同じ写真資料を用いて、資料の提示の順を入れ替えたり、説明を変えたりして同じ見学地を紹介する二つのプレゼンテーションモデル原稿を比較させることで、相違点に着目し、重要なポイントやコツに自らの力で気付けるようにする。  <small>(二つのプレゼンテーションモデル原稿の比較)</small>
追究する過程(4) 2 単元の課題の解決に向け、追究する。 ○二つのプレゼンテーションモデルを比較して、原稿作成のポイントと発表のコツに気付く。	実践する機会の設定 発表の場を設けることで意欲を高めるとともに、友達の相互評価や1年生からもらった感想を、振り返りに活用する。  <small>(プレゼンテーションの様子)</small>
【総合的な学習の時間】 見学地に決定した場所について調べ学習を行う。	資質・能力の一般化 単元を通して身に付けた資質・能力がどのような場面で生かせるか考えることで、学習したことを今後の学習や実生活で生かそうとする意欲がもてるようにする。 総合的な学習や就職してからもプレゼンテーションの力は必要だと思うので、今回学習したことを生かしたい。 <small>(生徒の振り返りより抜粋)</small>
【特別活動】 東京班別体験学習の実施。必要な資料や写真を見学地で集める。 ○原稿作成のポイントや発表のコツを基に、東京で集めてきた資料や写真を整理して必要な情報を選んだり、伝えたいことが伝わる表現について検討したりする。 ○1年生に向けてプレゼンテーションの発表を行う。	
まとめる過程(1) 3 単元の学習を振り返る。 ○単元で学んだことを確認する。 ○これからの生活で生かせる場面を考える。	

指導例：『魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう』
(第2学年 第1時)

1 モデルと出会い、単元の課題を把握する。

○見学地を紹介したプレゼンテーションモデルを見る。

単元の課題 東京班別体験学習で行った見学地の魅力が1年生に伝わるようなプレゼンテーションをしよう。

○見学地を決める際に、魅力が分からず見学地の選定に悩んだことを想起する。

S：どの見学地にどのような魅力があるか分からなくて困りました。

S：ガイドブックの説明文だけだと具体的にイメージができなくて、見学地を最終決定するのに苦労しました。

T：見学地を決めるのに苦労したよね。だから、今の1年生にはみんなの体験を生かして見学地の魅力を伝えよう。

2 本時のめあてをつかむ。

めあて プレゼンテーションの方法について学び、学習の見通しをもとう。

○話すことに関する既習事項を想起し、これからの学習の見通しをもつ。

T：プレゼンテーションをするには、どのような学習が必要だろう。

S：これまでの学習のほかに、どのような工夫をすれば魅力が伝わる発表ができるのか知りたいです。

T：これから学習することを身に付けた上で東京に行けば、魅力を伝えるプレゼンテーションができそうだね。必要な学習をしたら、1年生に向けて実際にプレゼンテーションをしよう。

3 単元全体の学習の見通しをもつ。

○プレゼンテーションには資料と発表原稿が必要であることに気付く。

T：プレゼンテーションをするためには、何が必要だろう。今までに見たことのあるプレゼンテーションや、最初に見たプレゼンテーションを参考にして考えてみよう。

S：発表するための原稿がありました。

S：写真やパンフレットがありました。

S：実物とか動画。

S：発表原稿と資料があればできそうです。

T：プレゼンテーションをするには、発表原稿といろいろな資料があればできそうだとすることに気付けたね。

S：次は魅力的なプレゼンテーションをするためのポイントやコツの学習ですね。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○これからの学習への意欲を中心に振り返りシートにまとめる。

☆1年生に見学地の魅力が伝わるプレゼンテーションを作りたい。

☆東京班別体験学習で見学地についてよく見てきて、学習に生かせるようにしよう。

指導のポイント

単元のゴールを示すためのモデルの提示

○単元のゴールをモデルとして示すことで、課題を明確にするとともに、学習への興味・関心を高める。

必要感のある言語活動

○学校行事に絡めた課題を設定したり、プレゼンテーションについての相手意識と目的意識を明確にしたりすることで、言語活動について必要感を得られるようにする。

学習内容に関する既習事項の想起

○既習事項やこれまでの経験を想起させることで、ゴールに向かうための本時の位置付けを理解し、課題解決に向けての意識を高められる。

目指す資質・能力の意識化

○既習事項やこれまでの経験を想起させることで、学習することが実生活に関わっているものであることを意識させる。

指導例：『魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう』
(第2学年 第2時)

1 本時のめあてをつかむ。

- 二つのプレゼンテーションモデルを比較することで、相手に分かりやすい発表原稿を作成するためのポイントと、発表のコツを考えることを把握する。

めあて 二つのプレゼンテーションを比較して、原稿作成のポイントと発表のコツを考えよう。

2 二つのプレゼンテーションモデルを見て、原稿作成のポイントと発表のコツを個で考える。

- 前時で見たプレゼンテーションを、作成の際に手本となるモデルとして見る。
- 相手に伝わりやすいプレゼンテーションにするために必要なポイントやコツを二つのモデルを比較することで明確にする。
- 「相手に正確に分かりやすく伝える」という視点で考える。

3 原稿作成のポイントと発表のコツをグループで考え、新たな気付きをもつ。

- ホワイトボードにまとめた内容を共有する。

提示した各グループのホワイトボード



グループで考えている様子



- S：同じ資料だけど、順番が違うだけで印象が違うね。
- S：この原稿は、説明の途中で資料を見せているね。
- S：相手に問い掛けるような言葉があるといいよね。
- S：客観的な情報として数値が必要なのは気付かなかったな。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

- プレゼンテーションの計画・実践をする上で必要なことについてまとめる。

- ☆発表原稿を作るときは、客観的な数値を示したり興味を引く構成を考えたりすることが大切であることが分かった。
- ☆発表するときには、声や視線への意識だけでなく、資料を見せるタイミングも考える必要があることが分かった。

本時の見通しをもたせる

- 実際にプレゼンテーションをする上での、発表原稿の作成の仕方や資料の提示方法について学ぶことを伝える。

提示モデルの工夫

- 考える視点を原稿作成と発表の二つに分けさせることで、比較・検討の観点が明確になるようにする。
- 同じ見学地を紹介する二つのモデルを比較させることで、原稿の構成や表現の工夫について焦点化して比較できるようにする。

考えを広げたり
ゴールを明確にしたりする工夫

- 個人で考えた原稿作成のポイントと発表のコツをグループで検討させ、意見をホワイトボードにまとめてクラス全体で共有させることで、自分では気付かなかった考えに触れられるようにする。
- 共有したポイントやコツを、新しい技能と既習事項に整理させ、この単元で身に付ける力がより意識できるようにする。

めあてに沿った振り返りの工夫

- 身に付けさせたい資質や能力についてまとめさせることで、めあてに沿った振り返りができるようにする。

指導のポイント

指導例：『魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう』
(第2学年 第6時)

1 本時のめあてをつかむ。

○プレゼンテーションの計画から実践までを振り返る。

めあて 単元全体を振り返り、今後に生かせる場面を考えよう。

2 単元で学んだことを確認する。

○単元の振り返りを行う前に、プレゼンテーションの計画から実践までに必要だったポイントやコツを想起する。

S：資料提示のタイミングについての工夫に気付いてもらった。

S：1年生の感想の中で、「来年実際に行ってみたい」と書かれていて、うれしかった。

S：声の大きさや視線は今までと変わらず意識する必要があることが分かった。

S：客観的な数値が入っていることで、自分が行ってない見学地の魅力も分かりやすく伝わってきた。



1年生の感想や相互評価を確認

3 学んだことを一般化して理解する。

○プレゼンテーションが用いられている場面をグループで挙げ、魅力を伝えるプレゼンテーションをする上で必要なことを考える。

○ホワイトボードにまとめた内容を学級全体で共有する。

S：総合的な学習の時間のまとめに使いそうだね。

S：先輩たちが職場体験の発表を見せてくれたけど、今考えればあの発表はプレゼンテーションだったね。

S：ドラマの中で会社の人々がプレゼンテーションしているのを見たよ。

S：学校生活だけでなく、就職してからも生かせそうだね。

S：自分の魅力を伝えるという意味では、面接でも使いそうだね。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○この単元で学んできたことや、今後の学習や生活の中で活用できることという視点を中心に振り返る。

☆何かを提案するときは、相手意識や目的意識をもって取り組むことが大事だと分かった。

☆ポイントやコツを基に原稿を見直したり発表したりすることで、相手に分かりやすかったり伝わりやすくなったりすることが分かった。

☆総合的な学習の時間でまとめる場面や委員会活動で提案する場面でもプレゼンテーションを用いることができそうだから、学んだことを活用してみよう。

単元の課題に沿った振り返り

○既習のプリントやノートを振り返らせることで、プレゼンテーションに必要な資質や能力も確認できるようにする。

○前時に行ったプレゼンテーションで1年生に書いてもらった感想や、友達との相互評価を活用させることで、単元の課題に沿った振り返りが行えるようにする。

実生活とのつながり（一般化）

○プレゼンテーションが用いられている場面を挙げることで、実生活の中で生かせる場があることに気付けるようにし、一般化できるようにする。

○ホワイトボードにまとめさせることで、個やグループで考えたことを全体で共有し、新たな考えに触れられるようにする。

一般化を意識した振り返りの工夫

○単元全体の振り返りを自分の言葉でまとめる時間を設けることで、自身の考えを形成し、身に付けた資質や能力を今後の学習や生活に生かそうとする態度につながるようにする。

国語科学習指導案

令和元年6月 第2学年 指導者 萩原 茜

I 単元名 「魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう」

II 学習指導要領上の位置付け

(1) 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。

【知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項オ】

(2) 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことア】

(3) 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことウ】

(4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

III 目 標

見学地の魅力が伝わるようなプレゼンテーションを計画・実践する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 発表で使う言葉を選んだり、伝える事柄の順序や構成を考えたりすることを通して、相手に効果的に伝えるための構成や展開について理解を深めること。

(知識及び技能)

(2) プレゼンテーションを行うために集めた材料を整理したり、伝える内容を検討したりすることを通して、自分が伝えたい魅力が分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 発表の目的を意識し、自分の伝えたいことが伝わるように、原稿や発表の仕方を工夫しようとする事。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／6）

- ねらい 東京の見学地紹介のためのプレゼンテーションを見る活動を通して、単元の課題を把握し、学習の見通しをもたせる。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 プレゼンテーションモデルを見て、単元の課題を把握する。（10分）	○見学地を紹介したプレゼンテーションモデルを見せる。 ○見学地を決める際に、魅力が分からず見学地の選定に悩んだことを想起させる。		
単元の課題 東京班別体験学習で行った見学地の魅力が1年生に伝わるようなプレゼンテーションをしよう。			
2 本時のめあてをつかむ。（5分）			
めあて プレゼンテーションの方法について学び、学習の見通しをもとう。			
○教師が活用したプレゼンテーションを想起させ、これからの学習の見通しをもたせる。			
3 単元全体の学習の見通しをもつ。（25分）	○プレゼンテーションには資料と発表原稿があることに気付かせる。		
4 本時のまとめ・振り返りをする。（10分）	○これからの学習への意欲を中心に振り返りシートにまとめさせる。		
プレゼンテーションの方法について学び、東京班別体験学習で見してきたことを分かりやすく発表していこうと、記述したり発言したりしている。 <振り返り・発言(4)>			
☆1年生に見学地の魅力が伝わるプレゼンテーションを作りたい。 ☆東京班別体験学習で見学地についてよく見てきて、学習に生かせるようにしよう。			

V 本時の展開 (2/6)

- ねらい 二つのプレゼンテーションモデルを比較する活動を通して、分かりやすかったり伝わりやすかったりするのための原稿作成のポイントと発表のコツに気付かせる。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分)	○二つのプレゼンテーションモデルを比較することで、分かりやすかったり伝わりやすかったりするのための原稿作成のポイントと発表のコツを考えることを伝える。		
	めあて 二つのプレゼンテーションを比較して、原稿作成のポイントと発表のコツを考えよう。		
2 二つのプレゼンテーションモデルを見て、個人で原稿作成のポイントと発表のコツを考える。(10分)	○前時で提示したプレゼンテーションを、作成の際に手本となるモデルとして活用する。 ○同じ見学地のプレゼンテーションで、分かりやすかったり伝わりやすかったりするポイントやコツが不足しているモデルを提示する。 ○プレゼンテーションに必要なポイントやコツが二つのモデルを比較することで明確になるような提示をする。 ○「相手に正確に分かりやすく伝えるために」という視点で考えさせる。		
3 原稿作成のポイントと発表のコツをグループで考える。(25分)	○ホワイトボードにまとめさせて黒板に提示する。		
	二つのモデルの違いから、相手に分かりやすかったり伝わりやすかったりする表現や発表の仕方について記述したり発言したりしている。 <発言・振り返り(3)>		
4 本時のまとめ・振り返りをする。(10分)	○プレゼンテーションの計画・実践をする上で必要なことについてまとめさせる。 ☆発表原稿を作るときは、客観的な数値や興味を引く構成を考えることが大切であることが分かった。 ☆発表するときには、声や視線への意識だけでなく、資料を見せるタイミングも考える必要があることが分かった。		

V 本時の展開 (6/6)

- ねらい プレゼンテーションが用いられている場面を考えたり、魅力を伝えるプレゼンテーションをする上で必要なことを振り返ったりする活動を通して、今後の生活で活用しようとする意欲をもたせる。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分)	○プレゼンテーションの計画から実践までを振り返ることを伝える。		
めあて 単元全体を振り返り、今後に生かせる場面を考えよう。			
2 単元で学んだことを確認する。(10分)	○単元の振り返りを行う前に、プレゼンテーションの計画から実践までの中で、必要だったポイントやコツを想起させる。		
3 学んだことを一般化して理解する。(20分)	○プレゼンテーションが用いられている場面をグループで挙げ、魅力を伝えるプレゼンテーションをする上で必要なことを考えさせる。 ○ホワイトボードにまとめさせて黒板に提示する。		
プレゼンテーションを用いる場面を想定し、伝わりやすい提案をするために必要なことを、学んだことを生かして記述し、実践していこうとしている。 <発言・振り返り(4)>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。(15分)	○この単元で学んできたことや、今後の学習や生活の中で活用できることという視点を中心に振り返りを書かせる。 ☆何かを提案するときには、相手意識や目的意識をもって取り組むことが大事だと分かった。 ☆ポイントやコツを基に原稿を作ったり発表したりすることで、相手に分かりやすかったり伝わりやすくなったりすることが分かった。 ☆総合的な学習の時間で学習したことをまとめる場面や、委員会活動で企画を提案する場面でも、学んだことを活用してみよう。		

指導計画 国語科 第2学年 単元名「魅力を伝えるプレゼンテーションをしよう」(全6時間計画)

目標	<p>見学地の魅力が伝わるようなプレゼンテーションの計画・実践をする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 発表で使う言葉を選んだり、伝える事柄の順序や構成を考えたりすることを通して、相手に効果的に伝えるための構成や展開について理解を深めること。 (2) プレゼンテーションを行うために集めた材料を整理したり、伝える内容を検討したりすることを通して、自分が伝えたい魅力が分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 (3) 発表の目的を意識し、自分の伝えたいことが伝わるように、原稿や発表の仕方を工夫しようとする。</p> <p>(知識及び技能) (思考力、判断力、表現力等) (学びに向かう力、人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1) 相手や目的に応じて話や文章の展開に違いがあることを理解することができる。 (2) 話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理することができる。 (3) 目的や意図に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すことができる。 (4) 発表の目的を意識し、自分の伝えたいことが伝わるように資料や表現を工夫しながら発表しようとしている。</p> <p>【イ言葉の特徴やきまりに関する事項】 【A話すこと・聞くことア】 【A話すこと・聞くことウ】 【学びに向かう力、人間性等】</p>			
過程	時間	☆ねらい めあて	☆振り返り (意識) ◇評価項目 ＜方法 (観点) ＞	
つかむ	1	<p>○東京の見学地紹介のためのプレゼンテーションモデルを見る活動を通して、単元の課題を把握させ、学習の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>単元の課題 東京班別体験学習で行った見学地の魅力が1年生に伝わるようなプレゼンテーションをしよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>プレゼンテーションの方法について学び、学習の見通しをもとう。</p> </div>	<p>☆1年生に見学地の魅力が伝わるプレゼンテーションを作りたい。 ☆東京班別体験学習で見学地についてよく見てきて、学習に生かせるようにしよう。</p>	<p>◇プレゼンテーションの方法について学び、東京班別体験学習で見てきたことを分かりやすく発表したいこうと、記述したり発言したりしている。 ＜振り返り・発言(4)＞</p>
追究する	1	<p>○二つのプレゼンテーションモデルを比較する活動を通して、分かりやすかったり伝わりやすかったりする原稿作成のポイントと発表のコツに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>二つのプレゼンテーションを比較して、原稿作成のポイントと発表のコツを考えよう。</p> </div>	<p>☆発表原稿を作るときは、客観的な数値や興味を引く構成を考えることが大切であることが分かった。 ☆発表するときには、声や視線への意識だけでなく、資料を見せるタイミングも考える必要があることが分かった。</p>	<p>◇二つのモデルの違いから、相手に分かりやすかったり伝わりやすかったりする表現や発表の仕方について考えたことを記述したり発言したりしている。 ＜発言・振り返り(3)＞</p>
	2	<p>○集めた資料を基にプレゼンテーションの準備をする活動を通して、多数の情報から必要な情報を選んだり、自分の伝えたいことが伝わる表現について検討したりできるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ポイントやコツを基に発表原稿を作ったり発表の仕方を考えたりしよう。</p> </div>	<p>☆自分の伝えたい魅力が伝わるような写真を選んだり、言葉を考えたりして原稿を書くことができた。 ☆どのタイミングで写真を見せるかなど、発表の仕方について考えられた。</p>	<p>◇集めてきた情報を目的に応じて整理・選択して発表原稿を作成している。 ＜原稿・振り返り(2)＞ ◇自分の考えや見学地の魅力が伝わる言葉や表現を考え、原稿に書いたり発表の練習をしたりしている。 ＜発言・原稿(1)＞</p>
	1	<p>○プレゼンテーションを行ったり他人から評価してもらったりする活動を通して、自身の発表を、ポイントやコツを基に振り返ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1年生に魅力の伝わる発表をしよう。</p> </div>	<p>☆友達からの評価を見て、ポイントやコツを意識して発表できていたことが分かった。 ☆1年生が「興味が湧いたので、来年行ってみたい」と感想で書いてくれた。 ☆ポイントやコツを意識して、準備してきた発表を1年生にすることができた。</p>	<p>◇ポイントやコツを基にした他者からの評価を参考にして、自身の発表を振り返ることができる。 ＜発言・振り返り(3)＞</p>
まとめる	1	<p>○プレゼンテーションが用いられている場面を考えたり、魅力を伝えるプレゼンテーションをする上で必要なことを振り返ったりする活動を通して、今後の生活で活用しようとする意欲をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>単元全体を振り返り、今後に生かせる場面を考えよう。</p> </div>	<p>☆何かをプレゼンテーションするときには、相手意識や目的意識をもつことが大事だと分かった。 ☆ポイントやコツを基に原稿を作ったり発表したりすることで、相手に分かりやすかったり伝わりやすくなったりすることが分かった。 ☆総合的な学習の時間でまとめる場面や委員会活動で提案する場面でも学んだことを活用してみよう。</p>	<p>◇プレゼンテーションを用いる場面を想定し、伝わりやすい提案をするために必要なことを、学んだことを生かして記述し、実践していこうとしている。 ＜発言・振り返り(4)＞</p>